

ひかりのさとのぞみの家
地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和8年3月16日(月) 14:00~15:30	場所	ひかりのさとのぞみの家 会議室
参加者	ご入所者ご家族 短期入所ご利用者ご家族 2名 第三者委員 特定非営利活動法人(NPO) 絆 東浦町社会福祉協議会 知多地域障害者生活支援センター らいふ ひかりのさとのぞみの家 施設長・副施設長 <div style="text-align: right;">計9名</div>		
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ・趣旨説明 2. 自己紹介 3. 事業所見学 事業所の概況、利用者の暮らし、支援内容、施設現状について見学説明 4. 見学後の意見交換 職員の携行物や名札について、利用者への配慮や安心感の面から意見を頂く。事業所からは、支援上必要な物品が増えている現状を説明するとともに、利用者にとっての安全性や、職員の名前を分かりやすく伝える工夫について見直しが必要であることを確認。 施設内の雰囲気については、穏やかな空気の中で、職員同士が相談しながら支援している様子が伝わったとの意見を頂く。一方で、排泄支援、テレビの内容、入浴回数など、日常生活の質に関わる点についても意見を頂き、事業所として今後さらに見直しを進める必要があることを共有。 また、広い空間がある一方で、利用者が同じ場所で同じテレビを見て過ごす時間が長いこと意見があり、事業所からは、個々の過ごし方や本人の望みに沿った生活のあり方を改めて検討していく必要があることを確認した。 5. 事故・ヒヤリハット・意見受付について 薬の事故やヒヤリハットの件数、記録方法について質問を頂く。事業所からは、医療的ケアの比重が高いことから医療面の事故が一定数あること、ヒヤリハットは日々の記録の中で入力しやすい形に見直していると説明した。 6. 事業所の取組み・課題・地域連携について 事業所から、医療的ケアが高まる中でも、住み慣れた場所でその人らしい生活や、活動・外出などの自己実現を支えていきたいことを説明した。 参加者からは、地域連携推進会議として、今後は地域とのつながりや相互交流の視点をさらに深める必要があること、閉鎖的になりすぎないように、家族や地域、ボランティア等との関わりを広げていくことが大切であるとの意見を頂いた。 7. 閉会あいさつ 		